

令和6年度 ブラックダンス部の指導方針等について

令和6年4月12日

1 指導体制

顧問教諭氏名		部活動指導員名
主顧問	大野 通子	山口 陽菜 (週1回)
副顧問	峯岸 輝明	
副顧問	谷合 美菜子	
副顧問	松本 洋平	

2 年間目標

全国大会出場を目指し、日々の練習に取り組む。

3 指導方針

(1) 部活動の量

- ・練習は、原則週に5日間とし、練習時間は平日2時間、休日3時間を基本とする。短時間に集中して行うことで学業との両立を図り、学校生活全般に対してモチベーションを高く保つ。
- ・競技力を高めるため外部大会に出場する。

(2) 練習計画

- ・各ジャンルのスキルや要素を取り入れ、ダンスの理解を深め表現力を身に付ける。
- ・チームで目標を決め、お互いを尊重し高め合い、日々の練習に取り組む。

(3) 規範意識の徹底

挨拶の励行、正しい言葉遣い、自ら進んで進んでリーダーシップがとれ、他の生徒の模範となるようにする。

(3) 地域貢献

各種大会やイベントへ積極的に参加する機会を作り、地域の一員として積極的に親しむ生徒の育成を目指す。

4 指導内容・方法

(1) 体罰・暴言等のない指導

生徒の状況を踏まえ、生徒とコミュニケーションを十分に図りながら、生徒に寄り添った指導を行う。

(2) 生徒間の暴力禁止

- ・常に話し合い、全員で問題を解決させていく。話し合いが難しい場合は顧問が立ち合う。
- ・話し合いの中で人権を侵害する言動は禁じる。

(3) 事故防止・安全配慮

- ・日頃から自分の健康管理について意識させ、適切に休養、栄養の補給に留意させる。
- ・生徒の体調の変化において、担任、生徒指導部、養護教諭等へ情報提供を行い、生徒が健全に活動できるよう支援する。
- ・生徒の健康観察を適切に行い、体調が優れない生徒に対しては無理をさせず活動内容を制限するか、休ませる。
- ・夏の練習においては、30分に1度の休憩と、こまめな水分補給を行い、できるだけ室内の涼しい場所で練習するよう指導する。
- ・ブレイクダンス等のアクロバットな振付は重大な事故につながる可能性があることから、十分なストレッチをし、コンクリートなど危険な場所等では行わないよう注意する。
- ・難易度の高い技の練習においては、顧問の立会いのもと行うよう指導する。

5 活動の手順

- ・昇降口前の清掃（必ずゴミはゴミ箱へ捨てる。）
- ・活動準備（鏡及びスピーカーなど）
- ・更衣を済ませミーティングを行う（顧問より連絡事項の伝達、部長より本日の内容、振付担当よりダンスのポイントを伝える）
- ・ウォーミングアップ（ストレッチ、アイソレーション、リズムトレーニング、体幹トレーニング、ロックダンスの基礎練習 振付担当が前に立ち実施）
- ・ジャンル、学年ごとの練習
- ・昇降口前の清掃（必ずゴミはゴミ箱へ捨てる。）
- ・更衣を済ませミーティングを行う（顧問より連絡事項、部長より次回の内容の伝達）
- ・顧問と部活動指導員は、活動及び更衣場所の整理整頓状況の確認と施錠を行う。